

富山市で「5G時代における電波の安全性に関する説明会」を開催

北陸総合通信局長(三田 一博)は、令和2年12月11日(金)に協同組合富山問屋センター流通会館(富山県富山市)において、電気通信関係事業者、医療機関従事者及び電波の安全性に関心のある方々を対象として、電波利用の先進技術、電波の安全性や健康への影響などを理解していただく説明会を開催し、約50名の参加がありました。

説明会では、三田局長の主催者挨拶後、以下の2つの講演が行われました。また、講演後に質疑応答が行われました。

講演Ⅰ

総務省総合通信基盤局 電波部 山口 修治電波環境課長が、注目されている新たな技術等に電波が利用されている事例とともに、電波利用の安全基準である電波防護指針に関する総務省の取組みなどを紹介しました。



総務省総合通信基盤局 電波部
山口 修治 電波環境課長



主催者挨拶

講演Ⅱ

一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター 所長 大久保 千代次氏が、「電磁波の健康への影響と電波防護指針」について講演しました。第5世代の携帯電話やIoT技術の導入など、電波利用の拡大と多用化が急速に進展することで、人々の暮らしは便利になるが、これらの新しい技術に伴う電波ばく露に対する安全性の確保、健康リスク評価、さらに国民を電波ばく露の悪影響から防護する電波防護指針(リスク管理)、電波への不安と安心(リスク認知)についての説明がありました。



一般財団法人電気安全環境研究所
電磁界情報センター所長 大久保 千代次 氏



新型コロナウイルス感染対策(受付)



説明会場全景

北陸総合通信局では、引き続き、電波の安全性について正しい知識の普及と理解を深めるための説明会を開催していきます。